



農林水産大臣賞典 (Road to JBC)
第38回 マイルチャンピオンシップ南部杯 (Jpn I)

盛岡競馬場 3歳以上オープン・ダート1600m

10月13日 (月祝) 18:15 発走

南部杯の創設は1988年。第1回から第7回まで北日本マイルチャンピオンシップ(北日本地区限定)の名称で行われましたが、1995年にJRA・全国地方競馬交流へ格上げ。名称もマイルチャンピオンシップ南部杯に改名し、名実ともにダート・マイル最強馬決定戦に位置付けられました。昨年はレモンポップが逃げ切りを決め、史上8頭目の2連覇を達成しました。

【注目馬情報】

★シャマル 牡7歳 松下武士きゅう舎・栗東

デビュー2戦目からダート1200mで3連勝。翌年4月に4勝目をあげて東京スプリントへ挑戦。重賞初挑戦でタイトルを獲得しました。続くさきたま杯3着からサマーチャンピオン、オーバルスプリントと連勝してマイルCS(チャンピオンシップ)南部杯へ参戦しましたが、カフェファラオの0秒1差3着。以降は黒船賞1勝のみにとどまりましたが、昨年の黒船賞2連覇からかしわ記念を完勝。また今年はかきつばた記念4着から黒船賞(3連覇)、かしわ記念(2連覇)、さきたま杯と3連勝を飾り、7歳馬ながら破竹の進撃中。2022年の南部杯3着の雪辱に燃えています。

★シックスペンス 牡4歳 国枝栄きゅう舎・美浦

デビュー3連勝でGII・スプリングステークスを快勝。日本ダービーは3番人気9着でしたが、毎日王冠、中山記念を連勝。GI・大阪杯へ駒を進めて1番人気に推されましたが、7着。前走はマイル・安田記念12着に終わり、マイルCS南部杯へ名乗りをあげました。ダート未経験で適性未知ですが、父キズナはダートでも続々と大物を輩出し、母フィンレイズラッキーチャームはアメリカダート11勝、GI・マディソンステークス優勝。ダートをこなす素地は十分。芝の王道を歩み続けてきた実力を前面にダート界に新風を吹き込むか注目。

★ペプチドナイル 牡7歳 武英智きゅう舎・栗東

芝2戦後、ダート路線へシフト。いきなり3連勝をマークしました。その後もダート中距離路線で好走を続け、4勝マーク。昨年は東海Sは6着からフェブラリーSに挑戦。初のマイル戦を問題にせず、好位抜け出しを決めて快勝。秘めた素質を開花させました。今度は地方ダートへ進出し、かしわ記念3着からマイルCS南部杯へ参戦。レモンポップ相手に真っ向勝負で挑み、0秒1差2着に惜敗しました。チャンピオンズC5着、連覇を狙ったフェブラリーS4着、ドバイ遠征は11着でしたが、帰国後はここへ向けて調整。今年こそ制覇の期待がかかります。

★ウィルソンテソーロ 牡6歳 高木登きゅう舎・美浦

デビュー4戦目からダートで4連勝。続く名古屋城S5着から、かきつばた記念、マーキュリーC、白山大賞典とJpnIII3連勝。マーキュリーCが転機の一戦でダート中距離をメインへシフト。チャンピオンズC、東京大賞典で2年連続2着、帝王賞2着。前後をはさみ、佐賀で行われたJBCクラシックを4馬身差で完勝。悲願のJpnIタイトルを獲得しました。今季はサウジC4着、ドバイワールドC7着、帝王賞5着と伸びを欠き、1600mに活路を求めてきました。過去に東京ダート1600m2勝、かきつばた記念優勝なら問題はありません。

★サンライズジパング 牡4歳 新谷功一きゅう舎・栗東

デビュー2戦目の阪神ダート1800m戦を勝ち上がり、JBC2歳優駿2着。またホープフルSでも3着を確保した芝ダート兼用のタイプ。皐月賞9着、日本ダービー12着後は休養に入り、不来方賞へ参戦して完勝。以降はダート1本に絞り、ジャパングダートクラシック3着、みやこS快勝。チャンピオンズCは6着でしたが、フェブラリーS2着。前走は名古屋グランプリを快勝し、重賞3勝目をマークしました。課題はマイル対応。フェブラリーS2着でしたが、元々がスロースターター。好ポジションを取れるかが勝敗のカギを握りそうです。

★クラウンプライド 牡6歳 新谷功一きゅう舎・栗東

3歳春にGII・UAEダービー優勝、ケンタッキーダービー13着から帰国。日本テレビ盃、JBCクラシック、チャンピオンズCと3戦連続2着。その後、中東2戦5着から帝王賞2着、コリアカップ優勝。以降は不振が続きましたが、翌年マーキュリーC優勝し、続いてコリアCを2連覇を果たしました。以降は再び精彩を欠いたため、復活を賭けて今年もマーキュリーCへ参戦。積極策から2着に粘りました。マイル戦は昨年5月、かしわ記念12着以来のこと。適性が微妙ですが、自分の競馬ができれば好勝負に持ち込めそうです。

★リメイク 牡6歳 新谷功一きゅう舎・栗東

中京ダート1400m・新馬戦を圧勝し、2戦置いて3連勝。以降は重賞路線に名乗りをあげて国内外のダート1200m重賞で5勝マーク。昨年11月以降は3戦着外に終わり、マイルに活路を求めてきました。1600m戦はユニコーンS6着以来、3年ぶり2度目ですが、ズブさが出てきた今なら、むしろ合う可能性が高そうです。

★イグナイター 牡7歳 新子雅司きゅう舎・兵庫

5歳時にJpnII・さきたま杯を制し、JBCスプリント（大井）を優勝。2年連続でNAR年度代表馬に選出された地方競馬の雄。マイルCS南部杯にも2度参戦して4、2着に気を吐きました。今季初戦は2度目の中東遠征でリヤドダートスプリント11着、前走・兵庫大賞典1着。その後はリフレッシュに専念し、今回が現役最後のダートグレード出走とのこと。多くのファンが熱い視線を送っています。

★ミックファイア 牡5歳 渡邊和雄きゅう舎・大井

デビューから無敗を快進撃を続け、2023年の羽田盃、東京ダービー、ジャパングダートダービーと当時の南関東三冠を獲得。さらに最後のダービーグランプリも制し、自身の連勝を7に伸ばしました。古馬との対戦以降は苦戦を強いられ、昨年のマイルCS南部杯4着が最高。今季2戦も川崎記念9着、帝王賞11着に終わりましたが、ワンターンの盛岡マイルで巻き返しを図ります。

★ヘリオス セン9歳 千葉幸喜きゅう舎・水沢

中央芝1勝、ダート7勝。ダートグレードの常連で鳴らし、2022年のマイルCS南部杯で強じんな粘りを発揮してカフェファラオのハナ差2着に惜敗しました。今年4月、高知1勝を経て岩手入り。当初2戦は4着止まりでしたが、あすなろ賞を快勝。古豪健在を誇示しました。夏場は自きゅう舎で休養し、青藍賞で復帰。4着に終わりましたが、ひと叩きされて気配アップ。地元の期待を集めて登場します。